

予算審査特別委員会における各会派の討論

会 派 清 新

第1予算審査特別委員会では、付託された議案第1号滝川市一般会計予算および関連議案を可とする立場で、総括質疑でも明らかにした給食費無償化と食材費高騰は別の課題と判断し、修正案を否とする立場で討論しました。

前田市政のこの4年間は、栄町3―3地区再開発事業の完成、老人ホーム緑寿園の完成など市民生活の利便性向上に努められましたことを高く評価します。

平成31年度予算は、骨格予算とはいえ機構改革により市立病院の経営分析が主要課題となり、新元号元年は財政健全化計画最終年に当たり、重要な1年となります。ふるさと納税の積極的なPRで歳入確保に努め、選択と集中の視点を高め、地方創生に向けての努力を求めました。

第2予算審査特別委員会では、付託されました議案第2号から第8号ならびに関連議案のすべてを

可とする立場で討論しました。

本市を含め多くの地方では、すでに高齢者すら減り始め、大都市では高齢者が激増していきます。その中で地方に人々がとどまり、希望どおりに子どもを育てる社会へ変わるための戦略を考える地方創生がスタートし5年目を迎えます。

各特別会計、事業会計におきましては人口減少が進む中、健全経営に向けて努力されてはいますが、今後財源の確保が一層厳しくなっていくと見えます。特に病院事業会計は医師不足、看護師不足による病棟の一部閉鎖など厳しい経営環境にあります。医師・看護師の働き方改革を進め、病院スタッフ一丸となり市民の健康を守るために赤字体質からの脱却を目指し、努力されることを求めました。

会 派 み どり

第1予算審査特別委員会に付託された平成31年度一般会計予算および関連議案について、要望意見を付して賛成し、修正案に否の立

場で討論を行いました。

歳入について、ふるさと納税を推進するために、首都圏でのPR活動はもちろん、あらゆる関係者および団体・企業にも細かくPRを実施し、滝川の魅力的な返礼品の開発に取り組み、きめ細やかなPRを実施すること。

歳出について、総務費では、市立病院経営分析支援業務委託は、適切な業者を選定すること。民生費では、高齢者、障がい者に対するきめ細やかな施策を丁寧を実施すること。農林業費では、基幹産業である農業に対し、拡大を図るため新規就農、後継者育成などに力を注ぐこと。土木費では、公園の削減を図り、廃止後に土地用途を変更し、売り払いを検討するよう求めました。

第2予算審査特別委員会に付託された特別会計および企業会計ならびに関連議案についても賛成の立場で討論を行いました。

国民健康保険特別会計、介護保険特別会計および後期高齢者医療特別会計については、さらなる健全運営に努めるとともに、市民の健康意識向上が保険料増加の抑制

につながるための対策を求めました。病院事業会計は、より一層の経営努力を、下水道事業については、人口減少が予想される中、使用料の増加を招かない方策を検討すること。公営住宅事業特別会計では、市営住宅の建て替えが進んでいるが、空き状態の解消と入居率向上、滞納者への徴収業務に努力し、公平性を図るよう求めました。

新 政 会

平成31年度一般会計予算および関連議案について、同年度は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と「財政健全化計画」の最終年度であり、厳しい財源環境の中、効果的かつ効果的な予算の執行を求めて、第1予算審査特別委員会に付託された予算および関連議案に若干の意見を付して可としました。

歳入では、国や北海道の動向を的確にとらえた交付税・補助金などの確保と、ふるさと納税の寄付額の拡大などを求めました。

歳出では、一般乗合バスによる市民の移動手段を維持するための運行会社との継続的かつ丁寧な調整、民生委員のなり手不足解消へ